

「次世代の健康づくり副読本」について

1 概要

「次世代の健康づくり副読本」は、本県の20歳～64歳の働き盛り世代の年齢調整死亡率（年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整しそろえた死亡率）が全国より高い状況を鑑み、児童生徒が子どもの頃から健康的な生活習慣を習得し、生涯にわたり健康的な生活を送ることができるよう、県医師会や教育庁等関係機関と協力して3種類作成し、平成27年度から県内小中学校で活用されています。

2 次世代の健康づくり副読本の種類

- (1) 食生活学習教材「くわっち～さびら（資料編）」対象学年：小学1～6年生

毎年度、県内の小学校新入学1年生分の冊子を印刷・製本し、配布しています。

- (2) 生活習慣学習教材「ちゃ～がんにゅ～」対象学年：小学4～6年生

- (3) こころの健康「こころのタネ」対象学年：中学校1年生～3年生

食生活
「くわっち～さびら」



生活習慣
「ちゃ～がんにゅ～」



こころの健康
「こころのタネ」



3 副読本の掲載サイト

サイト「健康おきなわ21」内「次世代の健康づくり副読本」のページに電子ブック・PDFデータを掲載しています。また、教員用テキストも掲載しています。

PDFデータをダウンロードして、必要な箇所のみを使用する等、幅広くご利用いただけます。

※電子ブック版は「ガーディ」の表紙ではありません。

<https://kenko-okinawa21.jp/fukudokuhon/>

